

生成の時

2018年9月1日

読者の皆さん

今月、9月は生成の時です。生じる時であり、そしてさらに完全に、さらなる確信と喜びをもって
そうする時です。確かに、それこそが、自然が私たちに語りかけていることです。世界のある地
域では春が近づき、溪谷や田園地帯では待ちわびたみずみずしい緑が見え始めています。
アメリカ合衆国と北半球の他の地域では、夏の華やかな花々がもうすぐ秋へと、風雨 ——
浮き沈み、喜びと悲しみ —— にさらされることから生まれた時間と謙虚さだけがもたらすような
色の王国へと成熟していくでしょう。世界のどこにいても、今は変わり目の時期なのです。

この時期に、実に多くの陰影があること、さらに言えば —— そこに、生き生きとした新しさと、
そして、今あるように、また、常にそうであったように至らせた成熟が同時に存在し得ること
—— は、ふさわしいことです。色彩と印象の多様性は、人間の体験それ自体とサーダナーの
本質を反映します。サーダナーにおける私たちの進歩には、新しさと成熟、初心者の心と英知
の育成および強化の両方が必要です。両者の相乗効果には、可能性、あふれんばかりの
潜在能力があります。動きがあります。

今年のメッセージの講話の中で、グルマーイは、インドの詩聖たちと彼らが創造を助けたサツ
ツァングの伝統について —— 詩聖たちが、どのように、言葉と行動を通して、真理の体験は
すべての人が手に入れることができるものだとし示したかについて —— 教えました。グルマーイ
が話した聖人の一人が、14世紀のカシミールのラレーシュワリです。今日まで、ラレーシュワリ
の琴線に響く詩は、精神の探究者たちにとってインスピレーションの源です。それは、普遍的
感情である切望に詩的な外観を、そして、その切望に従って私たちが行動することを助ける
教えに叙情的な形を与えます。バーバ・ムクターナンダは、(カシミールの言葉で書かれた)

多くのラレーシュワリの詩をヒンディー語に訳しました。そして、グルマーイがバーバの訳したものを英語に翻訳しました。

ある詩の中で、ラレーシュワリは書いています。

あなたは目覚めていますか。

それならば、大きく前進しなさい。

速く歩き、あなたの旅を完了させなさい。

あなたは、自分の理解を成長させるために

細心の注意を払わなければなりません。¹

ラレーシュワリの言葉は非常に力強く、前進せよという彼女の呼びかけの中には、新たなことを始めるという精神があります。同時に、彼女は私たちに旅を「完了させる」ことを促しています——既に始めたことを終わらせること、ある程度達成していることを力強く、迅速で、確固とした歩みで完遂することを促しています。

メッセージの講話の中で、グルマーイは私たちに、決意したことを前進させること、すなわち、いつでもどこでも「立ち止まり、つながる」こと、自分自身のサツァングを創り上げることを要請しました。ですから、2018年の最後の3分の1に入るに当たり、私たちは、敏感に目下進行中の始まりに気づきながら、この決意したことを完遂するとは何を意味するのかを考えましょう。2018年の終わりまでに、私たちは、サーダナーにおいてどこにいたいのでしょうか。私たちの旅の終わり、あるいはその行程は、どのように見えるのでしょうか。そしてどうやってそこにたどり着くのでしょうか。

¹ *Lalleshwari: Spiritual Poems by a Great Siddha Yogini*, rendered by Swami Muktananda (S. Fallsburg, NY: SYDA Foundation, 1981), p. 5.

実を言えば、あなた自身のサツァングを創り上げるのに、終了日も通過点もありません。サツァング、真理の仲間に加わることは、サーダナーの本質そのものです。その関わりは永遠であり、あなた自身の大いなる自己についてさらに多くを明らかにする可能性は無限です。それでもなお、今年が終わるまでにあなたがどこにいたいかの「何らかの」考えや方策を明確にすることは、有益です。そして、まだあと4カ月ある間——十分な約束と機会のある4カ月——に、そこにたどり着こうと本気になってゴールを追求することは有益です。グルマーイは、サーダナーにおけるゴールを達成するために「小さくて、具体的で、スケジュールに組み込まれた」ステップを踏みなさいと教えました。そうすることで、あなたは、自分が何に向かって努力していくかをよりたやすく思い描くことができます。あなたはそれを理解して——それから、より大きな力強さをもって、それを実行することができます。

ですから、上記の、提示された質問について考えてください。「2018年の終わるまでに、私はどこにいたいのか。グルマーイがあなたに伝えた決意をやり遂げるとは何を意味するのか」。多分、あなたにとって、この決意を遂行するというのは、サツァングを創り出すための筋肉を真に鍛えるということでしょう。それは「立ち止まって、つながる」ということを、徹底的に、あなた自身の中で消化吸収するということです。それによって、この実践が息を吸って吐くのと同じくらいあなたにとって自然なものになるということです。

おそらく、それは、何があなたの良き仲間であるかを本質的に知ることであり、人といようと、自分一人でいようと、同じくらい容易に、それにつながるということです。あるいは、おそらく、サツァングの瞬間を維持することで、日々の活動をしていく中でより継続して自分自身とのつながりを体験するということです。

あなたの心に響くものが何であれ、それと共にいて、思い切って進んでください。あなたの周り
と内側で起こっているすべての新しい始まりから、インスピレーションとエネルギーを引き出して
ください。ラレーシュワリの言葉を心に留めて、そして——強制したり、強要したりすること

なく——「あなたの理解を成長させてください」。忍耐、粘り強さ、勇敢な精神をもって、サツァング、その教えと体験があなたの魂に永遠に根付くことができる環境をつくり出してください。

いつものように、シッダ・ヨーガの道のウェブサイトは、あなたの決然とした努力に対する援助と資源になるでしょう。インドでは、今月は、ガネーシュ・ウトウサヴァ、ガネーシュ神(ガナパティーとしても知られる)をたたえる10日間のお祭りの月です。ガネーシュ神は、困難を取り去る神であり、新しい始まりの神です。今年のカネーシュ・ウトウサヴァは、9月12日から23日(インドでは9月13日から23日)までで、この期間にガネーシュの存在を呼び起こすことができます。ウェブサイトには、ガナパティー・バーツパーへの賛歌が掲載され、読んだり歌ったりすることができます。さらにウェブサイトでは、グルマーイのメッセージのテーマに関連した物語、そしてスワミ・アカンダーナンダによる、あなたのサーダナーにおける知性の役割についての講話が特集されます。

そして、あなたがまだそうしていないなら —— あるいは、既にそうしていたなら、特に —— 皆さんに「スウィート・サプライズ(嬉しい驚き)」のサツァングに参加し、グルマーイのメッセージの講話を聴くことをお勧めします。9月9日まで、シッダ・ヨーガのウェブサイトで聴くことができます。参加するたびに、グルマーイの教えの探究 —— あなたが向かっているもの、たどっている過程についての理解——は、より深まり、より深遠で、さらに繊細なものになるでしょう。

最近、グルマーイが子どもや若者たちのグループと一緒に、シュリー・ムクターナンダ・アーシュラムのアムリットの中庭にいた時のことです。その中庭は辺り一面に色彩が広がっていました。片側は、背の高いヒマワリで覆われ、もう一方は、さまざまな植物や、赤、オレンジ、ピンク、黄色の花々で縁取りされていました。お日さまが顔をのぞかせ、その明るく白い輝きがすべてを包んでいました。

グルマーイが子どもたちとヒマワリのそばに立っている時、1匹のチョウが彼女の手にとまりました。ただそこに止まって——じっと動かず、まるでそのか細い脚で少し前に進んだら何が起こるのかと不安に思っているかのようでした。

少しして、グルマーイはそのチョウをそばのヒマワリにそっと押しやりました。スポンジのような花の表面と大きくてハートの形をした葉っぱが、誰でも大歓迎という趣でした。しかし、チョウはそのままでした。グルマーイの手から離れようとしません。とても優しく、グルマーイは開いた手のひらの上でチョウを前の方に傾けると、「行きなさい。そこにつかまれますよ。あなたは強いのですから」と言いました。

すごくゆっくりと、チョウはやむなく、1枚の葉っぱの先端に乗りました。それから——そこにいました。チョウは、驚くべき安らかさと粘り強さで、そこにつかまっていた。羽を広げ、お日さまを招き入れ、その背に信じられないようなモザイク模様を見せていました。

私たちがグルの教えに従う時に起こることは驚くべきものです—— 私たちが自分自身の内側に発見する徳の数々、不意に生かすことができるようになり世界と分かち合える強さと美しさ。この手紙で、先ほどラレーシュワリの詩を引用しました。その詩には、もう一つ詩節があります。それは、常に私たちの核心を突くものですが、おそらく特に今はそうでしょう。私たちがいると気づいた、この特別で、極めて重要な、移行期の瞬間には。

ラレーシュワリは言います。

あなたの大きいなる友を求めなさい

そうすれば光を見るでしょう。

両脚を強くしなさい

そうすればあなたの翼が生えるでしょう。²

² *Lalleshwari*, rendered by Swami Muktananda (S. Fallsburg, NY: SYDA Foundation, 1981), p. 5

心を込めて

イーシャ・サーデサイ



© 2018 SYDA Foundation®. 著作権所有。